

経済学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
209	経済学演習 (笠松学)	通年	3年以上：4単位	笠松 学 政政・経演・国演

副 題
Subtitle

経済成長と所得分配

授業概要
Course Description

一国内で毎年新たに生産される生産物（GDP）は、長い期間で見ると増加する場合が多い。これを経済成長という。他方このGDPは所得として主体に分配される。また人々は、遺贈・相続・贈与といったかたちで、富をやり取りする。このような所得や富の分配と経済成長との関係について調べる。

本演習では経済成長と分配に関する様々な問題、たとえば、GDPは賃金と利潤とにどのような仕組みで分配されるのか、分配のされ方で経済成長率が変わってくるのか、世界の中の貧しい国々は豊かな国々に追いつくことができるのか、あるいは、少子・長寿化は分配にどのような影響を及ぼすのか、といった問題を、文献を読みながら、あるいは議論をしながら考え、経済学の一層着実な理解の助けとする。

最後に、そうした中から各自でテーマを選び、一つの論文として仕上げる。

授業の
到達目標
Objectives

1. 自分以外の人達の報告に質問・コメントしたり、自分の観点に基て議論できるようになる。
2. 自分の関心に従ってテーマを決め必要な準備の下で論文を完成させる。

授業計画
Course Schedule

- 第1回 - 第5回：成長論の検討・討論
第6回 - 第10回：分配理論の検討・討論
第11回 - 第15回：成長・分配理論の応用
第16回 - 第22回：各時のテーマに基く発表・討論
第23回 - 第29回：卒業論文の中間報告・討論
第30回：理解度の確認

教科書
Textbook(s)

春学期は、基礎的な知識を身に付けるために充当する。どのようなテキストを使用するかは参加者と相談して決める予定。

参考文献
Reference Book(s)

フォーリー&マイクル（佐藤・笠松監訳）、『成長と分配』（2002年、日本経済評論社）を参照すると成長・分配理論の内容の一部を知ることができる。

評価方法
Evaluation

	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	%	
平常点評価 Class Participation	100 %	参加・報告をし、質疑に参加し、エッセイを書き論文を完成させる。
その他 Other	%	

備 考
Note

演習は、講義では十分にできない小人数の参加者間での質疑応答や議論を通じて、自分の経済学（に止まらない、その他の分野の）理解を確認し、深めるために絶好の機会となる。また、これまでの経済学の勉強内容に不安がある場合でも、それを解決できる絶好の場にもなる。積極的に活用して欲しい。

関連URL
URLs for References